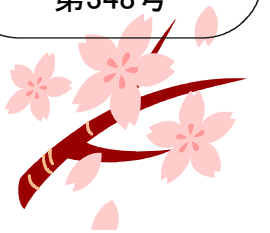


SHOSHINだより

発行:SHOSHIN本部 〒2520804 藤沢市湘南台1-14-4 Tel:0466-45-5555 Fax:0466-43-0439 Email:info@e-shoshin.com URL:www.e-shoshin.com



中3 2009年度 高校入試を終えて これからの勉強法

英語

公立高校の入試問題傾向からいえることは、基本はすべて教科書から！まず既習の単語練習。「覚える」という目的意識を持ち日々練習をする。SHOSHINで行う単語テストをうまく活用し、確実なものにしてほしいと思います。

次に課題への取り組み。単元ごとに課されるプリント形式の宿題を提出期限までにやり終えることです。また、授業日以外の補習授業にも積極的に参加してほしいと思います。現在は、二年生の復習を行っています。

独自入試の高校を志望する生徒は、何と言っても長文読解対策が必須です。ぜひ独自対策クラスの受講をおすすめします。

また、英検で三級以上取得を目標にすること、大きな自信にもつながります。(文責:青山)

数学

問題数・配点・出題傾向・難易度ともに、指導要領が変わった以降も全く変化はありません。そのため、入試に向けての対策は立てやすいと思います。今春の入試では、数学は50点満点中23点が中3内容でした。つまり、これから学習する内容が入試に半分近く出題される訳ですから、数学が今まで苦手だった生徒もこの一年の頑張りで大大きく前進することができると思えます。

毎日の学習では、とにかく授業の復習に力を入れること、演習量を増やすことを目標に努力してもらいたいと思います。復習は教室で使用しているテキストを使って理解できるまでとことん確認することです。演習に関しては、自分の学力レベルよりも少し高めの問題集を用意して、既習内容を中心にしっかりと解いていくことです。

さらに、中1や中2内容で理解不足な単元は今のうちからしっかりと復習しておきましょう。特に、1次関数や確率、円や平行四辺形など図形の性質を利用した問題は必ず出題されます。例えば、図形なら三角形の合同条件や図形の性質をノートにまとめ直しておくなどをしておくことです。苦手内容の克服は早い段階に行うように心掛けておかなければいけません。後手に回すとこれほど厄介なものはありません。自分でなかなか解決できないようでしたら、定期補習を上手く利用すべきです。

独自入試実施校、旧学区トップレベルを受験予定の生徒は、数学はハイレベルの問題を一年かけて解いていきながら実力を養成していくしかありません。そのためには独学では厳しいので、独自対策クラスを検討するのがよいと思います。

国語

生徒の皆さんは、目標を高い所に置いて、この一年は「やり切ること」をテーマに努力してもらいたいと思います。(文責:二宮)

神奈川県の入試国語とは、要するに中学三年生としてふさわしい「読解力」(古文も含む)と「ことばの知識」が備わっているかどうかを試すものです。したがって、勉強法としてまず大事なのが、皆さんの文章に触れてどんな内容の文章が出題されてもついていくことができるようにすることです。特に説明文の文章の出来不出来が結果に大きな影響を及ぼしていますので、できるだけ早めの取り組みが必要です。勉強法としては、まず、週に二、三回、実力問題に挑戦していくことです。その際、五問に一回ぐらいは文学的文章にも挑戦するようにしてください。

次に古文の勉強法についてですが、年度当初からしっかりと意識してこの勉強に取り組みすることが大切で、古文の勉強には文法事項の確認が必要になります。それについては授業の中で取り扱います。とにかく、今年一年、たくさんさんの古文に触れるようにすることが大切です。

問題を解く際に際しては、客観的(自分の考えではなく、あくまでも書かれている内容に即して)に解くことが大切になります。これについても授業の中で指導します。

理科

選択肢形式はまだ主流ではありませんが、非選択肢形式は、昨年度とほぼ同様で、指定結果の数値、化学反応式、用語(漢字指定とひらがな指定、二問)の四箇所となり、特に化学反応式や用語を漢字で書かせる出題があったことは、今後理科を学習していく上でしっかりと覚えておいて欲しいことです。図を動かしたり、文章で説明させたりといった、他県では普通に見られる形式は今年度の出題にはありませんでしたが、今後は出題が予想されますので、対応の必要があると考えます。また、選択肢の問題でも複数箇所の設問の答えの正しい組み合わせを表から選ぶ問題が増えています。同じような文章の問題が長い選択肢ではなく、問題の連続が易しくなったように思えますが、曖昧な知識では誤答を選択してしまうこともあり得るでしょう。

漢字・語句・文法等の勉強は、教室で行っている「確認テスト」や学校の定期テストの勉強をしっかりやることが大切です。普段からことばに興味を持つことが一番なのですが、それができない人は、確認テストなどを大切にしてください。(文責:明智)

選択肢形式はまだ主流ではありませんが、非選択肢形式は、昨年度とほぼ同様で、指定結果の数値、化学反応式、用語(漢字指定とひらがな指定、二問)の四箇所となり、特に化学反応式や用語を漢字で書かせる出題があったことは、今後理科を学習していく上でしっかりと覚えておいて欲しいことです。図を動かしたり、文章で説明させたりといった、他県では普通に見られる形式は今年度の出題にはありませんでしたが、今後は出題が予想されますので、対応の必要があると考えます。また、選択肢の問題でも複数箇所の設問の答えの正しい組み合わせを表から選ぶ問題が増えています。同じような文章の問題が長い選択肢ではなく、問題の連続が易しくなったように思えますが、曖昧な知識では誤答を選択してしまうこともあり得るでしょう。

社会

SHOSHINオリジナルテキストを使用します。このテキストは、学校の教科書(東京書籍版)をまとめたもので、「日本国勢図会」等から最新のデータを取り入れて、毎年改訂しているものです。生徒の皆さんは、教科書が手に入ったら、必ず学習單元を読んで授業に臨むようにしてください。そうすれば、テキストの理解が倍増します。テキストには、「ポイントの確認」、「A問題」、「B問題」、「S問題」が納められていて、豊富な問題量を演習できるようにしています。「A問題」は基本問題を、「B問題」は公立高校入試問題を、「S問題」は国立・私立高校入試問題を中心に編集されています。今年のテキストには「B問題」を大幅に増やしています。この中には記述問題を意識的に多く組み込んでいますので、来年度の入試対策には大いに役立つはずです。

三年生では公民を勉強しますので、とすれば地理・歴史の勉強がおろそかになり、せっかく覚えたことも忘れてしまいがちになります。そのため、SHOSHINでは、毎週地理と歴史の宿題を出します。「公民」という聞き慣れない言葉ですが、要するに現代の身近な問題を扱う教科書とすることが出来ます。従いまして、日常生活でニュース番組や新聞には常に接するようにし、世の中の流れに関心を持つことが大切です。そのための環境作りにご家庭のご協力をお願いします。(文責:舟本)

親子の私立中学受験講座第1部

4月29日(水)
12:00~15:30
会場:湘南台スクール

中学入試における隠れたエピソードや秘話、それに苦労話など、盛りだくさんの内容です。ぜひ、ご参加ください。

のびる

卒業していく中学受験六年生と中学三年生から、思いがけず「よせがき」をいただきました。もちろん、こちらから強要したのではなく、卒業生たちが自発的に書いてくれたものです。よせがきには、生徒たちからの心のもった感謝の言葉が並べられていました。その一部をご紹介します▼「夜おそくまでいっぱい勉強を教えてください。ありがとうございます。先生たちが指導してくれたおかげで合格することができました。」「入試の日の朝、応援に来てくれたことは、とても支えになりました。」「おかげで、入塾のときから偏差値が30以上も上がりました。」「以上、小学六年生」

いろいろな塾がある中で湘進を選んでよかった。」「授業がとても楽しかった。」「勉強がとてもよく分かった。」「成績が上がった。」「先生たちのおかげで希望の高校に合格できた。」「以上、中学三年生」▼卒業生からこのような感謝の言葉をもらえたことは、教師としてこの上もない喜びです。塾の教師には、卒業生を送り出すまでには、いろいろな悩みや葛藤、苦しみがあります。誰にも分からないと思っていたこれらのことを、実は生徒たちは良く見ている、感謝してくれているんだと思うと、胸が熱くなります。毎年卒業生を送り出している、そしてその中には感謝してくれている卒業生もたくさんいると思っても、それをこのように形にしていたことは、過去にはほとんどありませんでした。それだけに、教師人生の最大の勲章として、今年の卒業生からいただいたよせがきは、大切に持ち続けさせていただきます▼実は、このよせがきを書いてくれた小学六年生や中学二年生の全員が全員、自分の第一志望校に合格できた生徒たちばかりではありません。中には第二志望校であったり、併願の学校に進学する結果になった生徒もいます。そのような生徒たちには本当に申し訳なく、くやしきやら、やるせなさやら、とにかく言葉では表すことのできない気持ちがあります。それでも、私たちに感謝の気持ちを表してくれたことに正直、救われた気持ちがあります▼言うまでもなく、中学や高校の入学試験が人生のピリオドではありません。大学入試で一流校へ合格することや就職試験で大企業に入社することも、もちろんありません。では、なぜ子供たちは入学試験に挑まなければならないのでしょうか。それは、当面の一つの目標を持つこと、そしてその目標に向かって一杯の努力をすることにあると私は思っています。その努力によって自己を高めることができたと思うことができれば、結果はどうでもいいのです。それがどのようなものであろうと、一つの結果が出て、次なる目標へと邁進する。それでいいのです▼では、人生の究極の目標は何なのでしょう。それは今の私には分かりません。「おくりびと」によって送られるまで分からないのかもしれない。自分の人生を終えるとき、「自分の人生は楽しかった。」「精一杯生きてきた。」「と思える人が、人生の最終的な勝者なのかもしれません▼私もまだ道半ばの書生です。そんな私を「先生」と思って最後までついてきてくれ、のみならず感謝の言葉をいただいた今、この道を選んでよかった。仲間だった多くの者が私のまわりから去っていった中で、挫折せずに頑張り通してよかったの思いが私のまわりを駆けめぐっています。いただいたよせがきは、今も目の前にあります。今、私はとても幸せな気分です。(舟本)

Aさん
聖園女学院合格

私は四年生のときからSHOSHINにかよっていました。自分では受験に向けてがんばっているつもりでしたが六年生になってからも、あまり実感がわいてきませんでした。しかし、入試まで一ヶ月とせまってきたら、志望校に合格できるかどうかという不安やあせりが高まってきました。一生懸命過去問をいたり、苦手な単元を復習したりしましたが、不安な気持ちのまま入試をむかえました。入試では三日間合格がもらえず、さらに不安がつのるばかりで次の日に向けて気持ちを立て直すのがやっとでした。苦しい状態のままむかえた四日目の試験でようやく合格でき、ほっとしました。六日間、自分なりにがんばることができたので、この結果に満足しています。

落ち込んでなかなか前向きになれなかったとき、はげましてくれたり、勉強を見てくれたり、試験の日の朝、学校まで応援に来てくれた舟本先生、二宮先生、榎原先生、感謝の気持ちでいっぱいです。そして、三年間お世話になった先生方、今まで本当にありがとうございました。

中学校に入ってからがんばりたいと思います。

Bさん
大妻多摩合格
長崎日大合格
横浜富士見丘合格

私が受験を経験して強く感じたことは、一点の重みでした。私は四年生の春から受験コースに入りました。その日から、あつという間に五年生、六年生になり、六年生の初めのときは「まだ一年もある！」と思っていたけれど、その一年間ははやく、入試当日になってしまいました。

本番で一番安心することは、自分の席が見つかることです。自分の番号と机のはじにある受験番号が一致すると、とても安心します。

席に座ると私はテストや過去問で間違えたことが書いてあるオリジナルのノートを見ました。模擬テストなどでは参考書をデスク前に見ていたのですが、頭にはあまり入ってこなかったため、オリジナルノートを見るようにしました。

そして、三日がすぎ、二校合格していたので、四日は一度小学校に行きました。けれども、すっかりしなくずつと心の中はもやもやしていました。そのことで母と考え、五日にもう一度受験をすることにし、朝早くから満員の電車に乗りその学校へ向かいました。駅に着くと思ったより人が多くて、びっくりました。

この試験が終わったとき、「私の中学受験はこれで終わったというやりとげた気持ちになりました。その学校は私たちが解いている間、親に解説していたのでその答えをもとに母と採点してみると、そんなに悪くありませんでした。しかし、結果は不合格。数日後に表示される合格最低点を見ると、あと二点でした。とてもくやしいです。

だから、受験生のみなさん、一問一問を大切にしてください。一点の差で合否は決まります。

私がここまでがんばれたのは、SHOSHINの先生方の楽しい授業やとてもわかりやすく教えてくださったことと家族の協力のおかげです。SHOSHINの先生方、本当にありがとうございます。

中学入試合格体験記

父母面談を追加実施

四月を迎え、学校でも進学・進級し、新しい生活のリズムが始まったことと思います。SHOSHINではお子様の学校や家庭でのようすや家庭学習の状況などのご相談の機会にと、父母面談・父母会等を実施してまいりました。この度、ご家庭との連絡をより緊密にするために、小学部湘進コースおよび中学部の父母面談の実施時期を見直し、父母面談の回数を増やすこととなりました。すでにお渡ししてあります年間スケジュール(前期分)と変更になっているコース・学年がごさいますので、左表にてご確認下さい。

中学部父母会を学習相談会に

中学部で実施しておりました父母会の形式を見直し、「学習相談会」とさせていただきます。従来の父母会では教室側からの資料の説明が中心でしたが、より広くご父母からの意見を伺う機会を増やすための変更です。お子様の学習や進学について、ご父母と教師とがざくざくばらんに話し合える場にしたと考えています。四月に中学二年生、五月に中学一年生、七月に中学三年生の学習相談会をそれぞれ開催いたします。奮ってご参加下さい。

4月	7~10日	中2湘進コース第1回父母面談
	7~10日	小学部湘進コース第1回父母面談
	14~17日	中3湘進コース第1回父母面談
	21~24日	中学受験コース6年第2回父母面談
	24日	中2湘進コース第1回学習相談会
	28~1日	公立受験コース第2回父母面談
	28~1日	中学受験コース4年第2回父母面談
5月	29日	親と子の私立中学受験講座第I部
	11日	中学受験コース6年生茶話会
	12~15日	小学部湘進コース第2回父母面談
	19~22日	中学受験コース6年第3回父母面談
	26~29日	中学受験コース5年第2回父母面談
	26~29日	中3湘進コース第2回父母面談
6月	30日	中1湘進コース第1回学習相談会
	2~5日	公立受験コース第3回父母面談
	2~5日	中学受験コース4年第3回父母面談
	9~12日	中1湘進コース第2回父母面談
	9~12日	中2湘進コース第2回父母面談
	16~19日	中学受験コース6年第4回父母面談
	23~26日	中学受験コース5年第3回父母面談
	30~3日	公立受験コース第4回父母面談
7月	30~3日	小学部湘進コース第3回父母面談
	4日	中3湘進コース第1回学習相談会
	5日	私立中学個別相談会
	7~10日	中1湘進コース第3回父母面談
	7~10日	中2湘進コース第3回父母面談
	14~17日	中3湘進コース第3回父母面談

春です！社会見学に出かけましょう！

気候も過ごしやすくなってまいりました。SHOSHINでは在室の生徒を対象とした社会見学会を毎年行っていますが、今年の第一弾・第二弾として4月5日(日)に国立歴史民族博物館を、4月11日(土)には、高尾山とトリックアート美術館を訪れる社会見学会を開催します。国立歴史民族博物館は、千葉県佐倉市にある国内最大規模の歴史博物館で、古代から現代までの日本の歴史を学ぶのに最適な博物館です。小学6年生を対象とします。



高尾山は登山道とケーブルカーを利用して山頂まで登り、春の高尾山を満喫したあと、ふもとにある美術館を訪れ不思議なトリックアートの世界を楽しみます。小学部湘進コースと受験コース4年生を対象とします。SHOSHINではこれからもためになる社会見学会を企画・実行していきます。どうぞ、お楽しみに！



4月生募集中

個人情報保護の観点から、生徒名・所属学校名などが明記されている一部の記事を伏せて公開させていただきます。ご了承ください。

2009年4月・5月の予定					
16	木			1	金
17	金	4月第3週	5・6YT週例⑦	2	土
18	土		4YT週例⑦	3	日
19	日			4	月
20	月			5	火
21	火	4月第4週	6受験父母面談②(～24日)	6	水
22	水			7	木
23	木		中学部月例(～25日)	8	金
24	金	4月第5週	中2学習相談会①	9	土
25	土		5・6YT週例⑧	10	日
26	日		4YT週例⑧	11	月
27	月			12	火
28	火		公立受験父母面談②(～1日)	13	水
29	水		4受験父母面談②(～1日)	14	木
30	木	5	昭和の日 通常授業 親と子の私立中学受験講座第I部	15	金

5月第1週: 憲法記念日、国民の休日、こどもの日(休講)、振替休日(休講)
5月第2週: 5YT週例⑨、6YT月例②、4YT週例⑨、6YT週例⑨公開組分け、6年受験コース茶話会、湘進コース父母面談②(～15日)
5月第3週: 6YT週例⑩、5YT月例②